

平成 27 年第 7 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 27 年 7 月 23 日（木） 9 時 00 分
2. 閉会日時 同 日 10 時 40 分
3. 開催場所 加西市役所 1 階多目的ホール
4. 出席者 教 育 長 高 橋 晴 彦
委 員 荒 木 貴 子
委 員 渡 邊 隆 信
委 員 内 藤 堯 雄
委 員 多 田 久 子

5. 上記出席者及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

教育次長	小 林 剛
市参事（子育て未来政策担当）	前 田 政 則
教育総務課長	中 倉 建 男
学校教育課長	柿 本 博 司
こども未来課長	伊 藤 勝
生涯学習課長	森 幸 三
図書館長	上 坂 寿 人
総合教育センター所長	安 富 均
生涯学習課主幹	永 井 信 弘
教育総務課総務係長	伊 藤 陽 子

6. 付議事項

議案第 4 7 号 第 2 期「加西市教育振興基本計画」策定審議会委員の委嘱について
議案第 4 8 号 平成 2 8 年度使用教科用図書の採択について

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議の内容

議案第 4 7 号 第 2 期「加西市教育振興基本計画」策定審議会委員の委嘱について

教育総務課長より、第 2 期「加西市教育振興基本計画」策定審議会委員の委嘱について説

明する。「加西市教育振興基本計画策定審議会」設置要綱第3条の規定により、次の者に第2期「加西市教育振興基本計画」策定審議会委員を委嘱したいので、委員会の議決を求めるものである。

任期は、平成27年7月1日から平成28年3月31日までとし、委嘱するものは、学校教育より小学校・中学校長会長の2名、幼児教育より幼稚園・私立保育所代表の2名、社会教育委員長1名、加西市区長会長1名、市民より連合PTA会長1名と連合婦人会会長1名、学識経験者より兵庫教育大学准教授1名と加西教育の会会長1名、加西市よりふるさと創造部長と総務部長の2名である。

教育委員より、審議会の日程について質問があり、教育次長より、8月3日に第1回の教育振興基本計画策定審議会を開催し概要を説明する。その後、約2ヶ月をかけて事務局で素案を作成、第2回を10月中旬頃、第3回を11月の中旬から下旬に開催し、素案を修正する。12月に2週間パブリックコメントを行い、1月から2月にかけて第4回の審議会を開催し策定する予定である。教育員委員会に諮った後、3月議会に報告し、平成28年3月に発布を行う計画であると回答する。

議案第48号 平成28年度使用教科用図書の採択について

学校教育課長より、平成28年度使用教科用図書の採択について説明する。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第5項の規定により、北播磨採択地区協議会から平成28年度使用教科用図書について別紙のとおり報告があった。については、加西市立学校における平成28年度使用教科用図書について、報告どおり採択したいので、委員会の議決を求めるものである。

学校教育課長より、採択地区内の市町村の教育委員会は、採択地区協議会における協議の結果の基づき、種目ごとに同一の教科用図書を採用しなければならないという規定を説明する。加西市においては、北播磨地区5市1町とともに、北播磨採択地区協議会として規約を定め協議を行ってきた。教育委員の方には、6月23日に、平成28年度中学校教科用図書閲覧会を開催し、意見をいただいた。その意見については、前教育長より第2回北播磨採択地区協議会に事務で取りまとめた内容を報告した。その結果を別紙の一覧表に掲載している。それぞれの教科書選定報告書の選定理由を読み上げる。

教育委員より、英語の形式で点字やシャンプーボトルの凹凸が体感できる印刷とあるが一部のページについてかとの質問があり、学校教育課長より、その内容を表記するページだけであると回答する。

教育委員より、高校入試の学区拡大により、北播地区と東播地区とで学習指導要領に沿った教科書であるから支障が出ないと考えるが、学区の違いによって変わることがあるのかとの質問がある。学校教育課長より、高校入試についてはどの教科書を使っても支障が出ない

ように配慮してあると回答する。

9. 議決事項

議案第47号 第2期「加西市教育振興基本計画」策定審議会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第48号 平成28年度使用教科用図書の採択について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育次長から

6月議会において、市長より今後は新教育長制度を行うと明言された。市長は、総合教育会議を7月28日に招集する予定である。教育委員会では、教育の大綱を作成することになった。第1期「加西市教育振興基本計画」を、平成27年度の教育の大綱に置き換えることとした。重点目標と実践目標を凝縮し作成した。また、ひょうご教育創造プランの「心豊かで自立した」という自立の部分を明示し、基本理念としている。今回は、平成27年度の教育の大綱（案）として市長に提出している。これは、総合教育会議で大綱（案）について練る計画である。平成28年度以降の教育の大綱については、第2期「加西市教育振興基本計画」が基本となる。

(2) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、教育施設耐震化工事等進捗状況について報告する。富田小学校南校舎地震改築工事は、新校舎に移転し、木造校舎解体工事と外構工事を行っている。宇仁小学校渡り廊下設置工事は、建込み工事中であるが、プールの部分は引き渡しを済ませている。西在田小学校地震改築工事は、先週に起工式を行い工事に着手している。九会・賀茂・下里小学校の耐震化工事は、内装等の解体工事に入っている。天井等非構造部材落下防止工事は、夏休みを中心に工事を行うための準備中である。富田小学校太陽光発電設備設置工事は、準備中である。

(3) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、1学期の児童・生徒の学習・生活について報告する。小・中・特別支援学校ともに大きな事故等もなく、たいへん落ち着いた学校生活を送れた。小学校5校において、耐震化工事の影響で、5月に運動会を実施した。特別支援学校でも例年どおり5月に運動会を実施した。小学校8校は、6月末から1週間、南但馬自然学校へ行った。中学校においては、5月に修学旅行、6月にトライやるウィークを実施した。1学期はいろいろな行事があったが、学校で細かい配慮をしながら、生徒の指導が徹底されており、いい形で終了した。4月～6月までの学校からの重傷事故等の報告について、小学校においては、学校管理下で重傷事故（骨折）が3件発生した。内訳は2件が休み時間、1件がクラブ活動中である。中学校においては、学校管理下で8件発生した。全て部活動中に発生している。昨年は6件であったため若干増えている。事故に関しては、未然防止を図るために教頭会等で注意喚起をしながら、各学校、学校生徒全体で、事故のないように指導してもらっている。1学期の終業式であるが、台風11号の影響で、市内全ての学校が7月16日に終業式を前倒しで行った。通知簿・あゆみについても7月16日に各学校ともに配付した。この台風に向けては、代表校長と協議を行い、台風が接近していた15日の正午の段階で、市内統一した対応を決定したため、円滑で混乱もなく終了した。

(4) こども未来課長の報告

こども未来課長より、夏季学童保育入園児数について報告する。これは、夏休みを含めた7、8月の学童の受入児童数である。1学期中よりも夏休み中の方が児童数は増加している。夏季学童では、通常通っている小学校区ではなく、親の実家近くの小学校区の学童に入園するような特色も見られる。泉学童保育園（定員30名）では、現在2名が待機中である。家庭の状況により、入園調整を行っている。定員に空きができ次第、入園していただく予定である。

教育委員より、学童保育園について、今年度から小学6年生まで拡大されているが、この中に5・6年生は何人いるのかとの質問があり、こども未来課長より、夏休みを問わず、1学期から含めて5・6年生はほとんどいない。低学年の弟妹が入園しているので、一緒に入園しているお子さんが若干いる程度である。受け入れを小学6年生までに拡大したことにより、定員オーバーになったということはないと回答する。

教育委員より、現在2名の待機児童が学童保育園にはいるが、保護者の方と話し合いはされているのかとの質問があり、こども未来課長より、保護者の方には、定員と優先順位のことを説明し了承を得ていると回答する。

教育委員より、校区外から通っているお子さんもいるが、送迎はどのようにされているの

かとの質問があり、こども未来課長より、学童保育は、基本的には児童だけで登園をせず、児童の送迎は保護者が行う。兄弟の送迎も認めていない。このことは、校区外からであっても同じことであると回答する。

(5) 生涯学習課長の報告

生涯学習課長より、北条小学校土曜チャレンジ学習「自分だけの五百羅漢をつくろう」の開催について報告する。8月21日、北条小学校体育館にて、小学5・6年生を対象に、武蔵野美術大学の学生に来ていただき、芸術体験ワークショップを予定している。

(6) 図書館長の報告

図書館長より、加西市立図書館協議会委員の募集について報告する。現在の図書館協議会委員の任期が8月末で終了するため、一般公募にて2名以内で委員を募集した。7月20日に締め切ったところ5名の応募があった。この後、書類選考により委員を決定する。

次に、夏休みキッズイベントについて、8月1日、2日に図書館司書の仕事体験やウォークラリー形式での図書館見学を計画していると報告する。7月13日から読書手帳の運用を開始しており、子どもから大人の方まで活用できる。自身の読書記録を付けることにより、読書の振り返りができたり、読書の傾向がわかる。図書館内で希望者に配付している。

続いて、1997年に発生した神戸連続児童殺傷事件の加害者の男性が綴った手記「絶歌」について、この書籍については、出版の是非や図書館の取扱いをめぐり、さまざまな報道がなされている。加西市図書館にも抗議の電話が2件あった。当図書館では社会的な負の影響や反響を考慮し、当該書籍の購入を当面見送ることに決定した。

教育委員より、読書手帳について、どのような方たちに配付されるのかとの質問があり、図書館長より、小・中・特別支援学校の児童・生徒には全員配付している。2冊目以降は、図書館で配付する。市外の希望者の方も、図書館に来館してもらえば配付する。希望者には、子ども、大人を問わず、配付すると回答する。

(7) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、第1回総合教育センター運営委員会について報告する。6月18日に総合教育センターにて開催した。参加者は運営委員5名と事務局4名であった。事業概要、教育推進系の事業、育成支援系の事業及び市内青少年の現状と課題について報告した。また、総合教育センターの事業について協議を行った。協議の中での主な意見及び要望について報告を行った。

次に、加西市子ども情報誌夏号の発行について報告する。7月初旬に、市内の幼保施設の園児、小・中・特別支援学校の児童・生徒、公民館等の社会教育施設に8,600部作成し配布した。夏休みに子ども達がさまざまな体験活動を通して、健全に育つことを目的とした情報誌である。12月には冬号を発行予定である。

続いて、平成27年度加西市教育フォーラムについて報告する。昨年度までは教育講演会という名称で実施していたが、講演会とパネルディスカッション等で構成されたフォーラムに内容を変更した。教職員の研修の場として位置付けている。7月29日(水)9時30分～12時、健康福祉会館にて、子ども達の学力向上をテーマに開催する。参加対象は、小・中・特別支援学校、幼稚園、幼児園、こども園の教職員である。

教育委員より、加西市教育フォーラムが模様替えをして、パネルディスカッションを取り入れているのは良いことだと思う。小・中・幼の先生がパネラーになって発言いただき、またそのパネラーとしての発表に向けて、学校や園で相談したり、持ち帰って振り返りもあるかと思う。基調講演と合わせてパネルディスカッションを行うのは良い試みだと思った。第1回総合教育センター運営委員会での意見の中に、「センターが他市町の同様の施設と比べて優れているのは、発達障害対応の分野である。この分野の人的補充が必要であると思う。」とあるが、発達障害対応分野の業務や担当者の現状について説明いただきたいとの意見がある。

総合教育センター所長より、発達障害対応については、発達支援アドバイザーが業務を担当している。電話対応や来客対応等できる範囲では、一般職員も手伝うが、専門的な分野であり、相談等は一般の職員ではできない。対応事案や相談件数も多いため、現在は発達支援アドバイザーが1名いるが、もう1名専門性のある職員が必要である。このことに関しては要望していきたい。市民や学校からのニーズの高い分野であり、生徒指導対応にも関係してくるため、充実させたいと回答する。

教育委員より、現在いる1名の発達支援アドバイザーの方は常勤なのかとの質問があり、総合教育センター所長より、臨時職員ではあるが、週5日のフルタイムの常勤であると回答する。

教育委員より、岩手県でのいじめ問題が騒がれているが、いじめ問題に対して、加西市教育委員会と学校が十分に連携して対応をしてほしいと要望がある。学校教育課長より、岩手県の事案に関して、校長会にて、総合教育センター所長から各学校に再度対応を徹底するように依頼した。先日の学校と警察と総合教育センターで構成された連絡協議会(以下、学警総という。)にて、各学校の現状を確認した。今後についても、夏休みの生活の中で、プール指導や部活動等で、子どもとの接点を設けてもらい、変化があればすぐに対応してもらおう。また、教育委員会にも連絡をいただくように周知徹底を図っていると回答する。

総合教育センター所長より、校長会、教頭会、学警総において、この度改訂した「加西市いじめ防止基本方針」の改訂した部分の周知徹底を図った。いじめについては、1学期に中

学校で2件発生している。1件は部活動中に、もう1件は生徒間の人間関係の中で起こっている。内容については、それほど大きな事態ではない。岩手県での事案を教訓に、実際に担任及び全教師が児童・生徒をつなぎ、見守る中で、保護者と連携し、早期発見するという部分を重点的に指導する。また、基本方針に基づいた学校としての組織的な対応、教育委員会への報告をスムーズにしてもらいながら、速やかな対応ができるように指導を行ったと説明する。

教育委員より、学校はもちろん、各方面と連携をとりながら、怠ることがないように努めていただきたいとの要望がある。

教育委員より、初めて、定例教育委員会に参加させていただいて、それぞれの課で様々な取組をされていると感じた。図書館開催のいろいろなイベントも市民の目で、応援する気持ちで見ている。読書手帳についても、新聞に掲載されているのを見たり、地域の保護者の方と会話する中で、「図書館に行ったらこんなのがあった。」と見せてもらったことがある。このような形で市民の方に広がっていくのはすごい力だと思った。教育フォーラムについても、講演会だけでなく、パネルディスカッションを取り入れたのはいいことだと思うとの意見がある。

11. 協議事項

なし

12. 教育委員の提案

教育委員より、姫路市で開催された「兵庫県女性教育委員の会総会、研修会」の報告がある。県内の39の市町村及び連合組合が参加し、研修会が2講演と、午後に姫路城の見学があった。講演会の内容についての報告があった。

教育委員より、第2期「加西市教育振興基本計画」の準備が始まるということで、これは、平成28年度から5年間の各年度の教育委員会の目標にもなり、評価の基準にもなる。また、総合教育会議の大綱の指標にもなる。各委員の方やパブリックコメントでの意見を参考によりものを作っていただきたい。第1期「加西市教育振興基本計画」を振り返ることで、良い点、課題となる点があるかと思われる。それを、今後5年間の計画の内容や形式を決定する際に役立ててほしいとの要望がある。

教育次長より、第2期「加西市教育振興基本計画」の策定においては、第1期基本計画の5年間の取組の成果と課題及び現状を位置付けたいと思っている。社会状況や影響、人口減等も素案の中で十分に精査したいと考えていると説明する。

13. 今後の予定について

- ・平成27年第8回定例教育委員会 8月27日(木) 13:30～ 市役所1階多目的ホール
- ・平成27年第9回定例教育委員会 9月29日(火) 13:30～ 市役所1階多目的ホール

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成27年7月23日

出席者

(出席者署名)